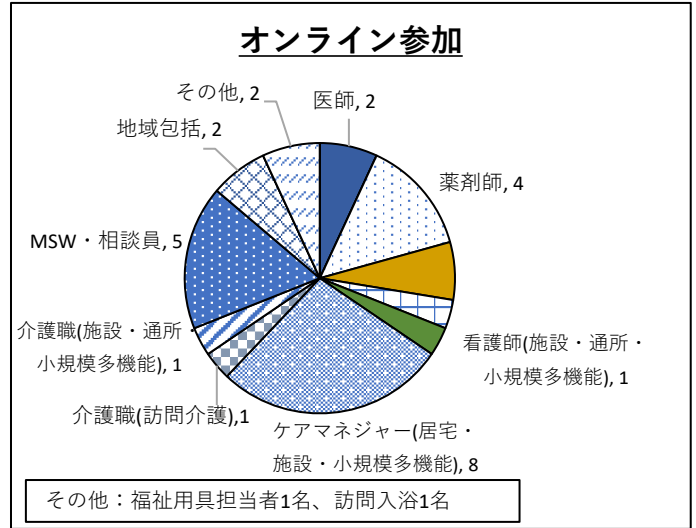
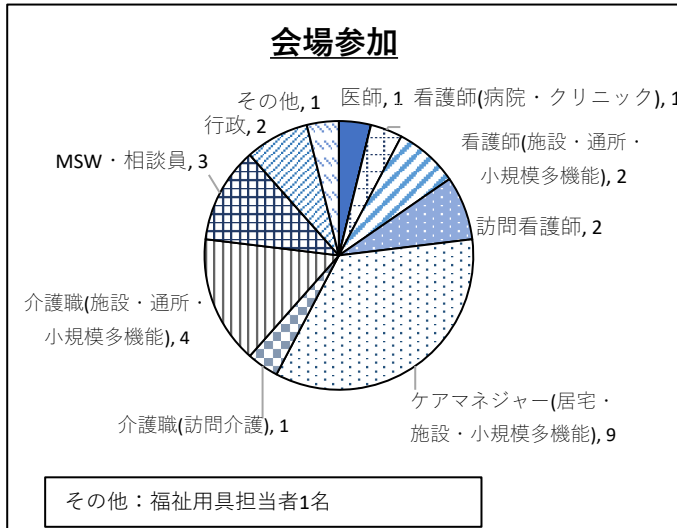


日時：令和4年7月6日(水) 19時～

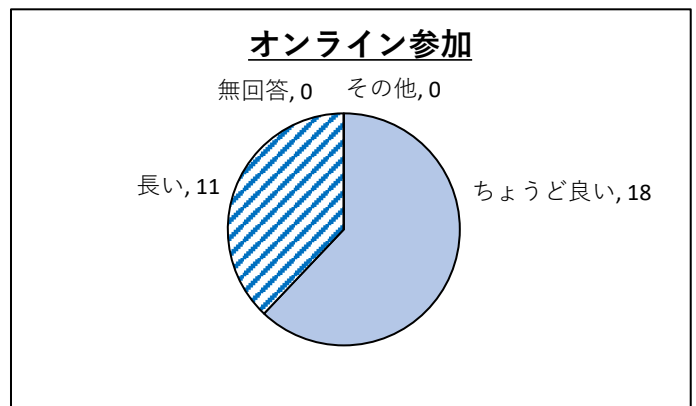
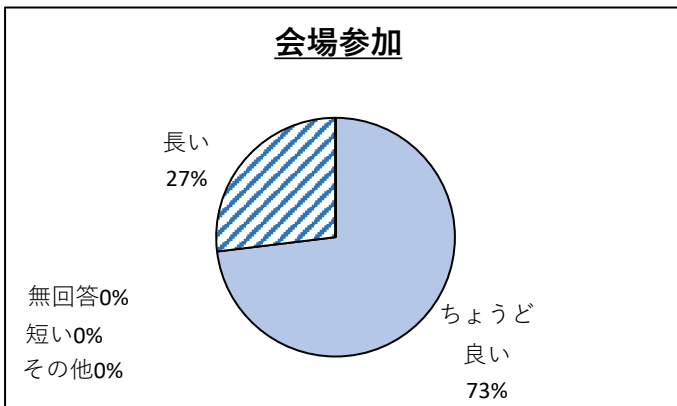
回答率：会場参加 26/35人

オンライン参加 29/61人

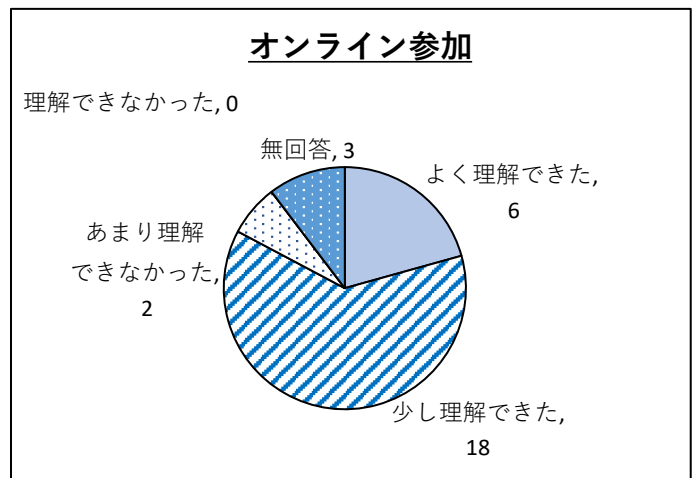
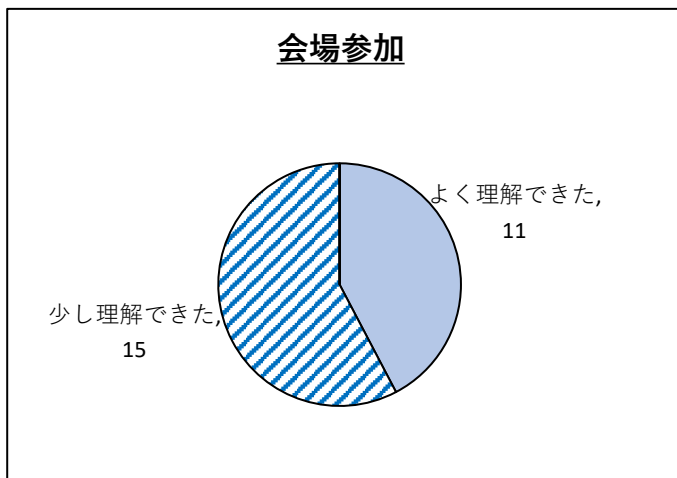
1. 職種について



2. 研修会の時間について



3. 講演の内容はいかがでしたか？



## 4.本日の研修内容について、ご意見等があればお聞かせください。

会場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・黒田先生のおっしゃった「空白の期間(1年5カ月)」をどれだけ縮めていけるかという課題解決は、急務であるとする。薩摩川内市としての取組みに期待しています。(対応が遅くなると本人の意向が聞きたくても聞けない支援になるケースもあります。</li> <li>・身近にある認知症について、薩摩川内市に住み、市民全員が共感できる地域になれば、より住みやすい地域になると思います。小さい子どもから高齢者まで全ての人認知症予防について学ぶ機会を増やしてほしいと考えます。</li> <li>・デイで利用者の特技や経験を活かした畑、手芸、園芸等を行い、地域の学校や企業へ繋げる取組みをしています。無償ボランティアですが、有償となればやる気もアップするのではと思います。学校や企業などに認知症について学ぶ場があれば、理解が深まり、私たちの活動も行いやすくなると思います。事例を通した内容は、とても分かりやすくよかったです。</li> <li>・世間に認知症に対する誤った理解が浸透しつつあるので、一般の人たちの考えがもっと変わるためには、社会参加の機会や交流の機会が増える取組みを行政主体で進めてほしい。</li> <li>・黒田先生の資料の「親には一人暮らしをさせなさい」という話を聞き、自分の親のことを考えました。初期集中支援チームの話については、実際の活動内容が聴けてよかったです。</li> <li>・認知症ケアを振り返る機会を頂き、ありがとうございました。制度理解も出来ました。</li> <li>・以前、認知症初期集中支援チームに関わりのあった方を担当しておりますが、その方は、現在はぬり絵を続けられていて、ショートステイでは作品を飾ってます。以前は、認知症が進行していましたが、現在は笑顔でぬり絵の大作を頑張っておられます。本人の役割に近いものとなっているようです。</li> <li>・事例の資料が欲しかったです。</li> <li>・認知症が進んで地域の問題等になった時、チームが再び関わるのでしょうか。</li> <li>・認知症は治る病気ではないので、どう向き合うか、周りができることなどについて考えることが大切だと思いました。</li> <li>・高齢者、認知症の方の持っている力の活かし方が理解できたと思う。</li> <li>・認知症についてのご意見も聞けて、とても充実した研修でした。</li> <li>・認知症初期集中支援チームの実際の活動を知ることができ、今後の業務のなかで活かしていきたい。</li> <li>薩摩川内市高齢・介護福祉課、地域包括支援センター、在宅介護支援センター、民生委員の方々への連携は図っています。</li> <li>・親子の「愛情貯金」が将来の豊かな関係性を築くことは、親の祖母の介護を見て、本当にそうだと思います。</li> </ul>
WEB	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症に関する薩摩川内市の取組みや歴史的背景が理解できました。また、自動車免許返納に関する問題は、いつも悩むところですが、最終的には主治医の意見やご家族の判断で押し切るケースが多いと思います。</li> <li>・仕組みや取組みについて聞くことができて良かったです。免許返納の事例や「いつでもドア」は勉強になりました。</li> <li>・認知症初期集中支援事業について勉強になりました。ありがとうございました。</li> <li>・薩摩川内市における徘徊感知機器でGPS機能付のものは、「お散歩コール」というものがあります。薩摩川内市においては、GPS機能の分は認められないとのことでした。</li> <li>・認知症初期集中支援事業のことがよく理解できた。今後、利用者様のご家族から相談等があったときには、活用させていただきたいと思います。</li> <li>・認知症の方の社会参加の種類が多いことを知ることができ、今後利用者様・ご家族への提案の幅が広がりました。とても勉強になりました。ありがとうございました。</li> <li>・病院や認知症初期集中支援チームと連携を図ることができれば、より認知症を患っている患者様を支援しやすくなると感じました。認知症カフェも活用していきたいです。</li> <li>・研修に参加させていただき勉強になりました。実際、認知症の方を担当しているので、いろいろと参考になり、また、支えているご家族のフォローもしていけないといけないと思いました。</li> <li>・改めて勉強できました。業務につなげていきたいです。</li> </ul>

WEB	・認知症とともに生きる人の社会参加と活躍について、今後の参考に加えていけたらと思います。支援チームの存在をもっと多くの方が認知できればいいのかなと思いました。
	・在宅で暮らしている認知症の方の支援として身近な内容でよい講話でした。
	・認知症大綱の掲げる「先生」への取り組みがより重要になると感じる。認知症を個人の問題と捉えるのではなく、社会の課題として、生活のしづらさを解消していく必要があると感じる。
	・認知症初期集中支援チームについて今まであまり理解できていなかったが、今回の講演で、どういう流れで実際に相談すればいいのわかりました。今後、病院から相談のケースを参考にして、支援につなげて行ければと思います。ただ病院としては初期ではない認知症の方の受け皿に困っている現状もあります。
	・研修中音量が小さく聞き取れない部分がありました。開催時間を少し早目に出来たらと思いました。
	・活動出来ればと考える所はありますが、現状では難しいと思ってしまいました。
	・ハウリングが起り聞きづらい。
	・良かったです。
	・黒田先生の講演、立宅さんの具体的な事例、分かりやすかったです。
	・支援チーム員の方々の役割は大変なことであると感じました。少しでも早い発見、対応ができるよう地域の協力も必須であると感じました。ありがとうございました。
	・お二人講師の熱意が伝わり、貴重な講演でした。有難うございます。
	・認知症を引き起こす疾患を脳の機能から理解したときに、感情が動く前に冷静に分析できると思います。

5. 今後、開催して欲しい研修などがあればお聞かせください。

会場	・虐待について児童、老人等いろんなケースがあると思います。薩摩川内市の取組み等知れるといいです。
	・人工透析の支援、予防について。
	・認知症カフェでの支援状況や経過や連携、報告、効果、期待。
	・専門の医療機関での治療から入院への必要性の段階とは。
	・支援困難事例について
	・終活について（自分がどの状態の時に終活を考えるのか。人それぞれ違うと思うが、やはりいずれ考えることなので学んでおきたい）
WEB	・認知症の方への対応
	・薩摩川内市の介護保険事業計画について
	・認知症初期集中支援チームが介入したことで地域で暮らせた事例を教えてください。
	・虐待を発見した場合や疑わしい時などの対応、対処または防止するための研修
	・老々介護の支援
	・薬の上手な管理方法について
	・身よりのない方（独居、家族と絶縁状態等）の入院支援について
	・在宅医療における服薬コンコーダンスについて、薬剤師を含めた研修会を企画していただければ光栄です。
	・インスリン注射の方の受け入れ、対応など。薩摩川内市では老健のショートステイはどこも受けられない。

6. オンライン参加において、動画・音声はいかがでしたか。(オンライン参加者のみ回答)

